

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において家族様の参加して下さる方は確保できているが、地域の方の参加が少ない。	民生委員、自治会の方などもっと地域の方々に運営推進会議に参加してもらい、グループホームの事を知ってもらい、意見をいただく。	自治会や町内の集まりに参加してグループホームの事を知ってもらい、運営推進会への参加をお願いする。	6ヶ月
2	33	現状、看取りはしない方針をとって、入居時にも説明はさせてもらっている。しかし、重度化した場合の移動のタイミングが難しい。	日頃から家族様とコミュニケーションをはかり、疾病のため重度化する前から、近い将来重度化の可能性を考え、その時はどうするか具体的な話ししておく。	家族様と利用者様の現状を話しをしながら、急変時の延命希望の再確認や重度化した場合の当事業所の対応や病院への入院など将来の事を具体的に話しをして方向性を定めておく。	6ヶ月
3	35	同敷地内の法人全体の避難訓練には参加しているが、グループホーム単独での避難訓練が出来なかった。	実際の災害想定を行い、グループホームでの避難経路、利用者様の動きなどを確認し、万が一の災害に備える。	グループホームでの出火を想定して避難訓練を行う。避難マニュアルの確認、火災報知器取扱いの確認を行っておく。利用者様にも参加してもらい、避難経路に問題はないかも確認する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。